

令和 6 年度

浅科人権文化センター運営委員会

資料

## 隣保館の歴史

昭和28年度の国家予算に、初めて同和地区に隣保館を建設する経費の補助金が計上され、その後、同和対策事業特別措置法制定を契機として全国に隣保館の整備が図られた。平成9年特別措置法が失効したことにより、同和対策施設から社会福祉施設へと変わり現在に至る。

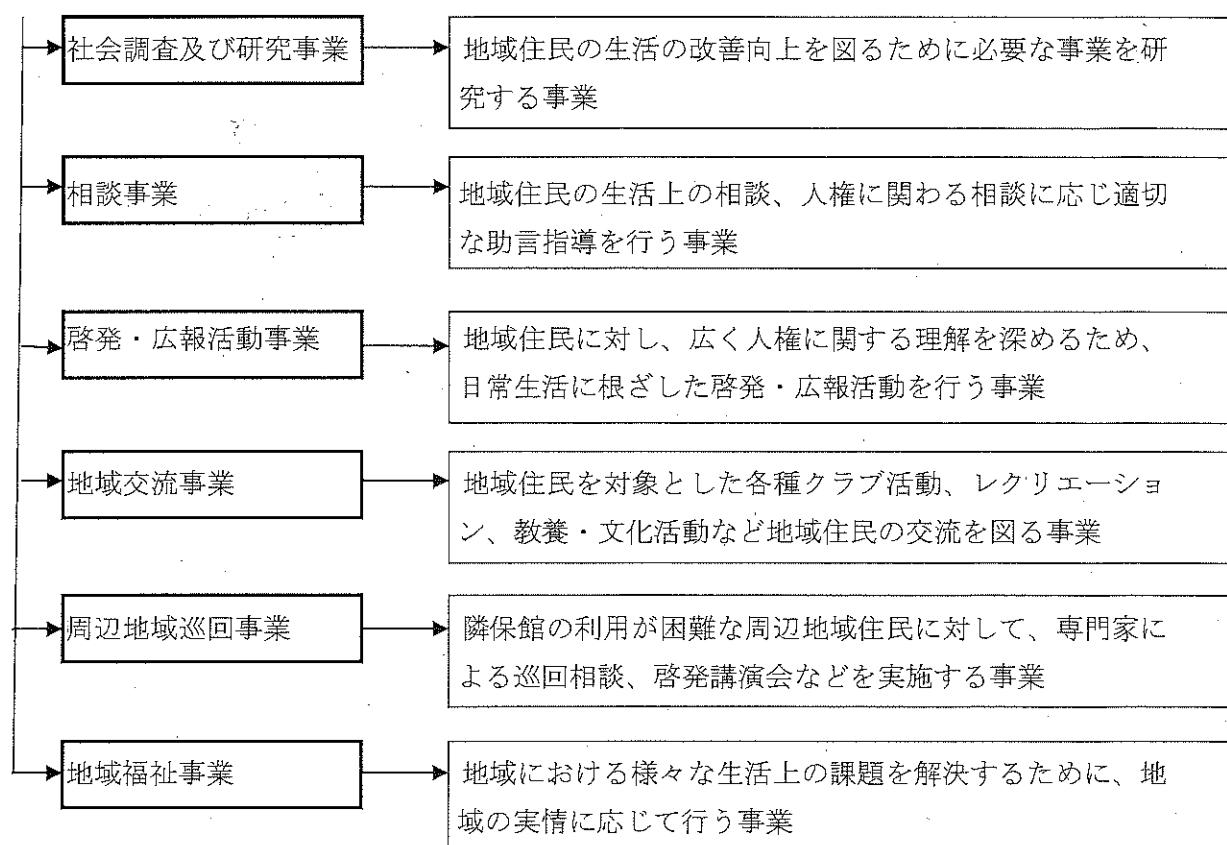
## 隣保館の目的

隣保館は、地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行うものとする。

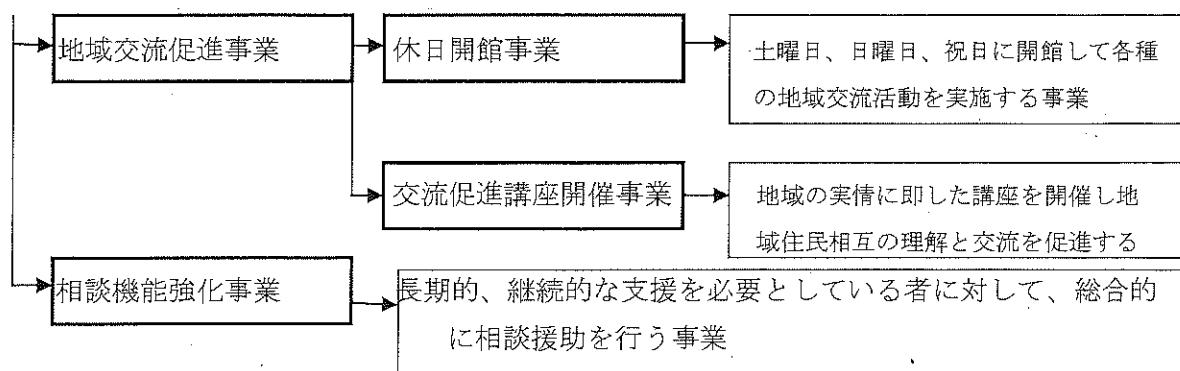
## 隣保館事業の体系

H14.8.29 厚生労働事務次官通知隣保館設置運営要綱より

### 基本事業



### 特別事業



(1) 令和5年度 浅科人権文化センター事業報告

事業名	事業内容	実施日	開催回数	参加人数及び件数	事業の方向性・検討課題
基本事業					
社会調査及び研究事業	① 人権同和教育・人権啓発に係る講演会や研修に出席 第109回長野県隣保館関係職員研修会				今後も積極的に研修会等に参加し、知識の習得に努める。
		4/18	1	1	
	第60回全国隣保館職員東日本ブロック会研修会	10/26 ～ 10/27	1	1	
	第111回長野県隣保館関係職員研修会	2/27	1	1	
	② 訪問等による地区世帯状況等の把握	随時			
相談事業	① 個別訪問による相談活動 相談員により地区の独居老人世帯を重点に訪問し、長生き会への参加の呼びかけや、相談・言葉かけを行った。	随時	39	相談をとおして地域の課題や住民ニーズ等発見し対応するとともに、予防していく。 相談ごとの回答やアドバイスを提供するにとどまらず「悩み事」をかかえた相談者に対する心のケアの場とする。	
	② 相談者との来館及び電話での生活相談 内容に応じ関係機関と連携して助言指導を行った。				
	③ 教育相談 英語教室等の保護者や生徒への助言を行った。				
	④ 健康相談 長生き会や音楽教室開催に合わせて保健師による健康相談を実施した。				
啓発・広報活動事業	① 「浅科人権文化センターだより」の発行 (支部員、浅科人権文化センター運営委員、部落差別撤廃人権擁護審議会委員)	7月 12月 3月	3	各53部	今後も機会あるごとに、情報提供、発信を行なう。
	② 人権教育啓発関係ビデオの貸し出し	通年			
	③ 人権パネルの展示	通年			
	④ 「隣保館だより」の発行(広報佐久3月号別冊) 市内全戸と関係機関へ配布し、隣保館で実施された事業、次年度実施される予定の教室などを周知した。	3月	1	市内全戸	
	⑤ 解放新聞、ハローワーク求人情報、情報誌等の提供	通年			
地域交流事業	① 地域交流会(料理教室・音楽教室)	6月 ～ 12月	12	61	地区内関係者が減少しており、声掛けなどによる加入促進に努める。
周辺地域巡回事業	訪問指導により高齢者や障がい者、一人世帯等を巡回訪問し、相談を行い状況を把握し、指導を行った。	通年			高齢者等が気兼ねせずに相談できる関係を構築していく。
地域福祉事業	長生き会 (料理教室・健康相談)	6月 ～ 12月	3	20	浅科支部の女性会員に協力ををお願いして、開催している。

事業名	事業内容	実施日	開催回数	参加人数及び件数	事業の方向性・検討課題
特別事業					
地域交流促進事業	《 休日開館事業 》				近年、休日の人権相談者が無いため周知の方法を考える。  地域の実態に即して、教室開催を決めていく。
	① 休日人権相談	4月～3月	12	0	
	② 絵手紙教室	毎月第1土曜日	11	74	
	③ 成人書道教室（祝日：中学生以上対象）	7月～2月	5	33	
	④ 中学英語教室（休日：2年：4回・3年:5回）	4月～3月	9	14	
	《 交流促進講座開催事業 》				
	① 児童書道教室（小学生対象）	毎週水曜日	38	198	
	② 成人書道教室（中学生以上対象：休日開催除く）	毎週月曜日	35	190	
	③ 絵手紙教室	毎月第3月曜日	11	90	
	④ 手芸教室	毎月第1木曜日	12	84	
相談機能強化事業	⑤ 中学英語教室（2年） (浅科中学校2年生対象：休日開催除く)	毎週火曜日	43	151	地域の課題・生活支援について、各関係機関と情報交換や連携を通じ対応していく。
	⑥ 中学英語教室（3年） (浅科中学校3年生対象：休日開催除く)	毎週金曜日	46	173	
相談機能強化事業	① 支援方策検討会  長期的・継続的な相談援助を必要とする事項について自立支援の方策を検討するため支援方策検討会を実施した。	3/18	1	3	地域の課題・生活支援について、各関係機関と情報交換や連携を通じ対応していく。

## 隣保館活動状況(前年度対比)

【浅科人権文化センター】

### 1 相談事業実施状況

相談事項	令和5年度相談件数	令和4年度相談件数
生活相談(生活・人権等相談)	39	5
健康相談(健康診断)	16	25
教育相談	11	35
職業相談(就職・失業保険)	0	0
事業相談	0	0
計	66	65

### 2 事業実施状況

事業名	令和5年度		令和4年度	
	開催回数	参加人員	開催回数	参加人員
啓発・広報活動事業	1	15	1	7
地域交流事業	12	61	5	25
地域福祉事業	3	20	3	13
休日開館事業	25	121	36	132
交流促進講座開催事業 (休日開館は除く)	186	886	246	1,295
計	227	1,103	291	1,472
人権センター通信等の発行	3	地区支部員配布 他(53部/回)	4	地区支部員配布 他(54部/回)

(2) 令和6年度 浅科人権文化センター事業計画(案)

事業名	事業内容	実施日	開催回数
基本事業			
社会調査及び研究事業	① 研修会、講演会等への出席  全国隣保館職員東日本ブロック会研修会 長野県隣保館関係職員研修会他	随時	
	② 訪問等による地区世帯状況等の把握	随時	
相談事業	① 個別訪問による相談活動  相談員により地区の独居老人世帯を重点に訪問し、長生き会への参加の呼びかけや、相談・言葉かけを行っていく。	随時	
	② 来館者や電話での相談  内容に応じ関係機関と連携して助言指導を行っていく。	随時	
	③ 教育相談  英語教室の保護者や生徒に助言を行っていく。	随時	
	④ 健康相談  長生き会や音楽教室の折に保健師・看護師による健康相談を実施する。	事業実施時	
啓発・広報活動事業	① 「浅科人権文化センターだより」の発行 (支部員、浅科人権文化センター運営委員、部落差別撤廃人権擁護審議会委員、各教室参加者へ配布)	6月 9月 12月 3月	4
	② 人権教育啓発関係ビデオの貸し出し	随時	
	③ 人権パネルの展示	通年	
	④ 「隣保館だより」の発行(広報3月号別冊)	3月	1
	⑤ 解放新聞、ハローワーク求人情報、情報誌等の提供	通年	
	⑥ 人権啓発講演会		1
地域交流事業	① 地域交流会(料理教室・音楽教室)	4月 ~ 11月	9
周辺地域巡回事業	訪問指導により高齢者や障がい者、一人世帯等の家庭を巡回訪問し、健康や介護等の相談に応じて状況を把握し、指導を行う。	通年	
地域福祉事業	① 長生き会 (料理教室・健康相談)	6月 ~ 12月	3

事業名	事業内容	実施日	開催回数
特別事業			
地域交流促進事業	《 休日開館事業 》		
	① 休日人権相談	毎月 第3土曜日	12
	② 絵手紙教室	毎月 第1土曜日	12
	③ 成人書道教室（祝日：中学生以上対象）	年間	9
	④ 中学英語教室（休日：3年4回）	年間	4
	《 交流促進講座開催事業 》		
	① 児童書道教室（小学生対象）	毎週水曜日	38
	② 成人書道教室（中学生以上対象：休日開催除く）	毎週月曜日	31
相談機能強化事業	③ 絵手紙教室	毎月 第3月曜日	12
	⑤ 中学英語教室（1年） (浅科中学校1年生対象：休日開催除く)	毎週木曜日	42
	⑦ 中学英語教室（3年） (浅科中学校3年生対象：休日開催除く)	毎週金曜日	46
相談機能強化事業	① 支援方策検討会  長期的・継続的な相談援助を必要とする事項について自立支援の方策を検討するため支援方策検討会を実施する。	必要に応じて	

1985年、夏。  
俺たちもセン公もアツかった。

# かば

KABA

脚本：アラタ 沢田真理子 宮村知義 監督：若林 勝 脚本監修：  
原作：新井信也 監修：佐久市 文化課 企画・脚本：新井信也 監修：佐久市  
文化課 企画・脚本：新井信也 監修：佐久市 文化課 企画・脚本：新井信也  
監修：佐久市 文化課 企画・脚本：新井信也 監修：佐久市 文化課

新佐久市誕生  
20周年記念

映画会

令和6年度  
佐久市

# 人権・男女共生フェスティバル

手話通訳・  
要約筆記あり

入場無料



11/17  
2024年  
日

佐久平交流センター（佐久市佐久平駅南4-1）

13:00～16:50(開場12:30)

第一部 映画上映「かば」(135分)

第二部 講演 講師・川本貴弘さん

(映画「かば」プロデューサー・監督・脚本)

講師・古川正博さん

((公社)全国人権教育研究協議会前事務局長、  
大阪市立鶴見橋中学校元教員)

共催：佐久市・佐久市教育委員会、  
佐久市男女共生ネットワーク

協賛：佐久市企業人権同和教育推進連絡協議会

佐久市役所 市民健康部 人権同和課 ☎ 0267-62-3135



佐久市LINE  
公式サイト  
イントロダクション・ルート



# 全部の生徒に優しい先生でいてあげてね

かば 川本貴弘

監督作品『25万人以上が出演を待ち望んだ、NMB48史上最大級の全国巡回イベント』

1995年、ハフル本気を超える日暮に、生のでの矛盾が生まれたような地図があった。大阪豊中区、山手、梅見、校内暴力、すさんだ家庭……過酷な環境の中でよりよい明日を夢見て、せみ、苦しみ、しかしたくさん生き方を探索するたくさんの子ともたちがそこにいた。(彼らと向き合い、正面からふつつかった運営の数々・高益男(かば・まさお・2010年に58歳で死去)を知った監督は、2年半にわたる取材を通して2017年にバイロット版を製作、2万人を超える人々からの完成を望む声に押されて全国から7年、ついに映画は完成。ソーシャルティエンヌが叫ばれる衣食住の混乱の今、兎の人間同士のつながりとは何か、これからもの時代を生きろビントがこの映画にはある。高先生を演じるのは自身も大阪出身である北井アラタ、ヒロインの新井教員を複数回登場となる北原夏美。もうひとりのヒロインであるかつての教え子にNMB48を卒業後、女性として活動中の近藤里奈。共演に末村知貴、石川達也、西方季亘らの実力派に加えて漫画家界から坂美佳、浅野拓、山本香織らが参加。さらにアニメ「しゃリンズチエ」のチエ役でもおなじみ中山千夏が賛助出演している。

この映画で想つ事

「お前たち、この映画をのぞまないといけない。  
NMB48は你たちのせいだ。  
おやこよ、私が何をかわさう。彼をうしろにかわ  
さう、私はして、おやこよ、おやこよ、  
この世界を離れてさう。そして離れて、離れて、離れて  
離れて、おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、  
おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、  
おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、  
おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、  
おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、おやこよ、



阪本順治 時尚監修

映画にして生み出された時代の様子をそのままにそれをも表現してしまっている。だからといって生硬に、いかで生じても、作り手が嫌しく、かづき愛をこめて映らぬ映画ではない。映かれて、私は何度も何度も見てしまった。映画という形がそれをよく見て、何気無く見極めていた結果だったが、この作品を観てもう一度、映画が好きになってからも感心したことばかりである。この繰り返しがそれが、何故か、今まで見て來た他の映画と違っていた。 原一男 映像監修

また、子育ての映画を撮影して初めて映画監修を担当した坂本順治監修は、手足細く見えて寂しき未練のいい思い。一方、片手に握られた懐妊と妊娠を手筋で手筋に握りしめる。おもひいて娘を中心にしているのもわかるから、抱きを抱きしめ隔離にも耐える。映画がする事だ。上映中止の時間なんてない。これが映画のように、大人は生き生き生きできる。 清々敬久 映像監修



初めて大映を、大人や子どもを丸裸にした映画が、井筒和幸・脚本



申込期間 10月1日(火)8:30~11月8日(金)17:15

定員 300名(先着・事前申込制)

申込方法 佐久市公式LINE(イベント予約)又は電話により、氏名・住所・電話番号・参加人数をお申込みください。(電話での受付は平日8:30~17:15) (1回の申込みで最大4名まで)